



浦島伝説

令和5年 9月29日

第 21 号

逆算思考

9月の生徒会目標

新時代 ～いいスタートをきろう～

文化委員会：新しい考え方を本で発展させよう

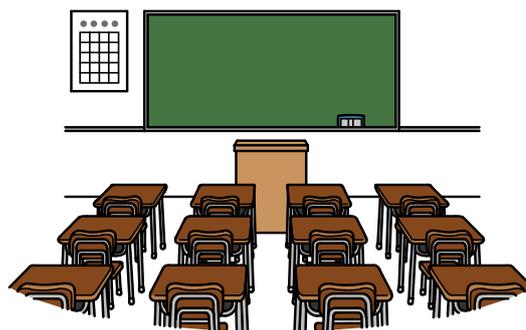
体育委員会：身だしなみから整えよう

保健委員会：テストに向けて調子を整えよう

生活委員会：忘れ物0

給食委員会：残債ゼロを心がけよう

美化委員会：学習環境を整え授業に集中しよう



9月の生徒会目標と各委員会の目標です。さて何人の生徒がそれぞれの目標を意識し、生活できたでしょうか？目標は、大切です。目標を決めた限りにおいては、達成に向けて取り組むことが大切です。

部活動の顧問をしていた頃、生徒たちと目標を立てていました。「野球部通信」を発行し、チームの目標や個人の目標などを書いていたこともあります。その時チーム目標でよく出ていたのは「県大会出場」「地区総体優勝」などです。はじめの頃は何も思わずただただ目標を掲げていましたが、附属坂出中学校野球部副顧問時代に長尾健司先生と目標について話をしていた時のことです。

「**県大会出場**」を目標としているチームに県大会優勝はあり得ない。

「**地区大会優勝**」を目標としているチームにも県大会優勝はあり得ない。

「**四国大会出場**」を目標にしているチームにも四国大会優勝はあり得ない。

「**全国大会出場**」を目標にしているチームにも全国大会優勝はあり得ない。



という結論に至りました。そこから附属坂出中学校野球部の目標は、「**全国大会優勝**」が多くなったのを覚えています。とても大きな目標ですよね。この目標達成には、何が必要なのでしょう？周りの人から失笑をされないような日々の生活態度や練習態度を高めることは当たり前ですよね。

さて問題はここからです。全国大会優勝までには、地区総体 2 位以内（坂出市内）→県大会 2 位以内→四国総体優勝（準優勝でもいけるときがまれにある）という道を通っていかねばなりません。地区総体で 3 試合、県総体で 4 試合、四国総体で 2 試合の約 9 試合（多いときは 11 試合）を全て勝ち抜かなければ全国大会には出場できません。（全国大会で優勝するにはそこから 4 試合か 5 試合勝利をおさめなければなりません）

そこで取り入れたのが「逆算思考」です。まず、地区総体は 2 位以内に入る必要があるので準決勝は必ず勝たなければなりません。そこにチームのエースを登板させるのです。それからの順番を「逆算思考」で考え、地区総体の初戦に投げるピッチャーが決定するのです。県大会も四国総体も同じです。次に進めるための最善を逆算で考え、チーム全体で共有するのです。もちろんピッチャーにはいつ投げるかも伝え自分で調整していきます。この方法は、オリンピックや WBC でも取り入れられていました。

9月の生徒会目標「新時代 ～いいスタートをきろう～」をもとに各委員会で考えた目標はどのくらい達成できたのでしょうか？本気で目標達成に向けて取り組めたのでしょうか？9月の目標をみんなで振り返ってみてください。なんせ超一流の中学校を目指しているみなさんですからこれからの目標を楽しみにしています。「逆算思考」参考にしてみてください。